

保健所名:

衛研受付日:

NESID ID:

衛研受付番号:

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症、新型インフルエンザ等感染症、
指定感染症検査票及び病原体定点(☐小児科・ ☐ARI)検査票

患者 情報	氏名 (五類感染症・病原体定点はイニシャル可)	性別	☐ 男 ☐ 女	年齢	歳	ヵ月	入院外 来 の 別	☐ 入院 ☐ 外来
----------	----------------------------	----	--	----	---	----	--------------	--

[主治医等記載欄] ※太枠内を記入してください。

医療機関等名及び 主治医等医師名		(記載者:主治医等と異なる場合)	
診断名(疑い含む) ※裏面から 選んでください。		発 病 日	
		検 体 採 取 日	
貴院での病原体検査の実施状況		☐ 無 ☐ 有	診 断 日
検査材料 ※分離菌株の場合は 検出した材料も選択	☐ 分離菌株(菌名:) ☐ 血液(全血、血清、血漿、抗凝固剤[])) ☐ ふん便(腸内容物、直腸ぬぐい液) ☐ 穿刺液(☐ 腹水 ☐ 胸水 ☐ 関節液) ☐ 喀痰 ☐ 髄液 ☐ 尿 ☐ 咽頭ぬぐい液(☐ うがい液 ☐ 鼻汁 ☐ 鼻腔ぬぐい液) ☐ 皮膚病巣(水疱内容、痂皮、創傷) ☐ 結膜ぬぐい液(結膜擦過物、眼脂) ☐ その他[]		
臨 床 的 事 項	臨 床 症 状・ 徴 候 等 [該当するもの 全てをチェック してください] (基礎疾患を除く)	☐ 無症状 ☐ ショック症状(低血圧、循環不全) ☐ 頭痛 ☐ 発熱(最高体温 °C) ☐ 胃腸炎(☐ 下痢 ☐ 血便 ☐ 嘔気 ☐ 嘔吐 ☐ 腹痛) ☐ 熱性けいれん・関節痛(関節炎)、筋肉痛 ☐ 角膜炎、結膜炎、角結膜炎 ☐ 口内炎 ☐ 髄膜炎(項部硬直)、意識障害、麻痺(部位)、 ☐ 上気道炎(咽頭炎/痛、扁桃炎) ☐ 中枢神経系症状(脳炎、脳症、脊髄炎、 ☐ 下気道炎(肺炎、気管支炎) その他[]) ☐ 発疹(丘疹、紅斑、バラ疹) ☐ 水疱 ☐ 循環器障害(心筋炎、心膜炎、心不全) ☐ 出血傾向 ※全身性のもの ☐ 黄疸 ☐ 肝機能障害 ☐ リンパ節腫脹(部位)、唾液腺腫脹、 ☐ 腎機能障害(HUS、血尿、乏尿、蛋白尿、多尿、腎不全) ☐ 浮腫(部位) ☐ 尿路生殖器症状(膀胱炎、尿道炎、外陰炎、頸管炎) ☐ その他の症状	
基 礎 疾 患		転 帰	☐ 経過観察中 ☐ 軽快 ☐ 治癒 ☐ 後遺症有り ☐ 死亡(原因:)
主治医等から群馬県衛生環境研究所への連絡事項 患者へ説明して同意を得た後に□にチェックを入れてください。			
☐ 感染症発生動向調査事業について説明し、検体提出について患者の同意を得ました。			
* 迅速検査実施(☐ 無 ☐ 有 :メーカー名【 】 結果:()			
* 全自動遺伝子解析装置等による検査実施(☐ 無 ☐ 有) 結果:(☐ 陰性 ☐ 陽性[型別等] ☐ 判定保留)			
* 抗菌薬投与(☐ 無 ☐ 有 :薬剤名【 】 投与期間: ~ (日間)			
* 抗ウイルス薬投与(☐ 無 ☐ 有 :薬剤名【 】 投与期間: ~ (日間)			

[保健所等記載欄(主治医記載可)]

発 生 の 状 況	☐ 散発 ☐ 地域流行 ☐ 家族内発生 集団発生(☐ 無 ☐ 有) ※「有」の場合は該当施設をチェックしてください。 ☐ 保育所 ☐ こども園 ☐ 幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高校 ☐ 宿舍・寮 ☐ 病院 ☐ 老人ホーム(介護施設含) ☐ その他()		
最近の海外渡航歴	☐ 無 ☐ 有	国 名	期 間 ~
ワクチン接種歴	☐ 無 ☐ 有	ワクチン名 (Lot No.)	最終接種年月日

注1) 主治医記載欄については、検体送付日において記載できる範囲で記載をお願いします。 注2) ワクチン接種歴については、当該疾患に係るものにつき記載してください。

注3) 医療機関(民間検査所を含む)で病原体を分離した場合は、群馬県衛生環境研究所への分離株の送付をお願いします。

注4) 全自動遺伝子解析装置等を設置しており、同装置にて検査を行った場合は、得られた結果を[主治医から群馬県衛生環境研究所への連絡事項]に記載をお願いします。

[群馬県衛生環境研究所記載欄]

記 載 者 名			
検 査 結 果 等	検 出 年 月 日		
	検 出 方 法	☐ 分離培養	☐ 培養細胞(細胞名[] : 代) ☐ 人工培地 ☐ その他()
		☐ 抗原検出等	☐ LA ☐ IC ☐ RPHA ☐ EIA ☐ その他()
		☐ 遺伝子検出	☐ PCR ☐ シーケンス ☐ リアルタイムPCR ☐ その他()
検 出 病 原 体			

診断名

一類感染症

1	エボラ出血熱
2	クリミア・コンゴ出血熱
3	痘そう
4	南米出血熱
5	ペスト
6	マールブルグ病
7	ラッサ熱

二類感染症

1	急性灰白髄炎
2	結核
3	ジフテリア
4	重症急性呼吸器症候群 ※1
5	中東呼吸器症候群 ※2
6	鳥インフルエンザ(H5N1)
7	鳥インフルエンザ(H7N9)

三類感染症

1	コレラ
2	細菌性赤痢
3	腸管出血性大腸菌感染症
4	腸チフス
5	パラチフス

四類感染症

1	E型肝炎
2	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)
3	A型肝炎
4	エキノкокクス症
5	エムポックス
6	黄熱
7	オウム病
8	オムスク出血熱
9	回帰熱
10	キャサナル森林病
11	Q熱
12	狂犬病
13	コクシジオイデス症
14	ジカウイルス感染症
15	重症熱性血小板減少症候群 ※3
16	腎症候性出血熱
17	西部ウマ脳炎
18	ダニ媒介脳炎
19	炭疽
20	チクングニア熱
21	つつが虫病
22	デング熱
23	東部ウマ脳炎
24	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)
25	ニバウイルス感染症
26	日本紅斑熱
27	日本脳炎
28	ハンタウイルス肺症候群
29	Bウイルス病
30	鼻疽
31	ブルセラ症
32	ベネズエラウマ脳炎
33	ヘンドラウイルス感染症
34	発しんチフス
35	ボツリヌス症
36	マラリア
37	野兔病
38	ライム病
39	リッサウイルス感染症
40	リフトバレー熱
41	類鼻疽
42	レジオネラ症
43	レプトスピラ症
44	ロッキー山紅斑熱

五類感染症(全数)

1	アメーバ赤痢
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)
3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)
5	急性脳炎 ※4
6	クリプトスポリジウム症
7	クロイツフェルト・ヤコブ病
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
9	後天性免疫不全症候群
10	ジアルジア症
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症
12	侵襲性髄膜炎菌感染症
13	侵襲性肺炎球菌感染症
14	水痘(入院例に限る。)
15	先天性風しん症候群
16	梅毒
17	播種性クリプトコックス症
18	破傷風
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
21	百日咳
22	風しん
23	麻しん
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症

五類感染症(定点)

小児科定点	
1	RSウイルス感染症
2	咽頭結膜熱
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
4	感染性胃腸炎
5	水痘
6	手足口病
7	伝染性紅斑
8	突発性発しん
9	ヘルパンギーナ
10	流行性耳下腺炎

急性呼吸器感染症(ARI) 定点 (小児科・内科)

1	急性呼吸器感染症
---	----------

感染症法第14条第1項に規定 する厚生労働省令で定める疑 似症(疑似症定点)

1	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものの。
---	--

新型インフルエンザ等感染症

1	新型インフルエンザ
2	再興型インフルエンザ
3	新型コロナウイルス感染症
4	再興型コロナウイルス感染症

※1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

※2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

※3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

※4 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※5 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※6 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有すること新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。